

地域再生計画

1 地域再生計画の名称

福山市まち・ひと・しごと創生推進計画

2 地域再生計画の作成主体の名称

広島県福山市

3 地域再生計画の区域

広島県福山市の全域

4 地域再生計画の目標

本市の人口は、国勢調査によると、2015年の464,811人をピークとして、2020年には460,930人に減少している。住民基本台帳によると2021年には463,324人となっている。国立社会保障・人口問題研究所の将来推計によると、2040年には44万人に、2060年には40万人を下回り、39.5万人になると見込まれている。

年齢3区分別の推移をみると、1995年から2065年にかけて、年少人口は77千人から48千人、生産年齢人口は311千人から207千人と減少を続け、高齢者人口は65千人から142千人と増加し続けており、2045年にピークを迎え、その後は減少に転じる見込みである。2020年の年齢3区分別人口は、年少人口が60,655人、生産年齢人口が260,383人、高齢者人口が132,167人となっている。高齢化率については、2055年に33.6%となり、その後も高い水準のまま推移する見通しである。

合計特殊出生率は、継続して全国や広島県の平均を上回り、2019年は1.60となっている。経年でみると、2005年から2011年までは上昇していたが、その後はやや低下傾向にあり、近年は1.6台で推移している。

自然増減については、2012年には死亡者数4,566人が出生数を4,310人上回る自然減となり、以降自然減が続いている。2019年には▲1,449人の自然減となっている。

社会増減については、2013年に転出者数10,930人が転入者数10,696人を上回り、以降社会減が続いている。2019年には▲624人の社会減となっている。社会減

の状況については、新型コロナウイルスの感染拡大の影響下にあった 2020 年を除き、女性の転出超過が大きい傾向となっている。また、年齢別に見ると、20 歳代の転出超過が最も多い状況が続いている。

人口減少が進むことで、公共交通の利用者が減少し、維持・確保が難しくなるなど、生活利便性が低下することが考えられる。また、地域の担い手が減り、コミュニティの維持が困難になることが懸念される。

人口減少を抑制するため、進学・就職や結婚・出産など人生の転機ごとに設定した政策ターゲットの満足度を高める政策が必要とされている。また、人口減少・少子高齢社会にあっても、持続可能な都市を形成するためのコンパクト・プラス・ネットワークの考えを踏まえつつ、生活に必要なサービスを維持・提供していく必要がある。

こうした課題に対応するため、「新たな分散型社会の下で、市民一人一人の安心な暮らしと希望が実現する都市」をめざし、デジタル化の推進などにより、大都市圏等から人や企業を呼び込む環境をつくるとともに、誰もが柔軟にライフスタイルを選択できる、新たな分散型社会の実現をめざしていく。

具体的な事業は、以下の事項を本計画における基本目標として掲げ実施する。

- ・基本目標 1 福山駅周辺の再生加速とグローバル都市の創造
- ・基本目標 2 希望の子育てと寛容で健やかな社会の実現
- ・基本目標 3 人や企業が安心・安全に活躍できる都市環境の構築
- ・基本目標 4 新たな価値を創出する人材育成と個性光る地域振興
- ・基本目標 5 歴史・文化とスポーツによる新たな体験価値の創出

【数値目標】

| 5-2の ①に掲げ る事業 | K P I | 現状値 (計画開始時点) | 目標値 (2024年度) | 達成に寄与する 地方版総合戦略 の基本目標 |
|---------------------|---------------|-----------------|-----------------|-----------------------------|
| ア | 福山駅周辺のウォークアブル | 約50.0% | 約60.0% | 基本目標1 |

| | | | | |
|---|---------------------------------|-----------------------------|----------------------------|-------|
| | エリア内の歩行空間の割合 | | | |
| | 伏見町・三之丸町・東桜町・元町の従業者数 | 7,216人 | 7,600人 | |
| | 伏見町の流動客数 | 平日 1,051人 休日991人 | 平日 1,140人 休日1,190人 | |
| | 総観光客数 | 3,792千人 | 6,600千人 | |
| | 観光消費額 | 18,723百 万円 | 34,200百 万円 | |
| | 外国人観光客数 | 13千人 | 87千人 | |
| | M I C E開催件数 | 16件 | 77件 | |
| | M I C Eの運営やおもてなしにボランティアで関わる市民の数 | — | 100人 | |
| | 世界バラ会議福山大会開催の市内認知度 | 15.6% | 80.0% | |
| イ | 「この地域で子育てをした いと思う親」の割合 | 94.7% | 96.0% | 基本目標2 |
| | 男性の育児休業の取得率 | 9.2% | 30.0% | |
| | 合計特殊出生率 | 1.60 | 希望出生率 (1.90) と の差の縮小 | |
| | 平均寿命と健康寿命の差 | 男性 1.29 年 女性2.87 年 | 平均寿命と 健康寿命の 差の縮減 | |
| | 要介護（要支援）認定率 | 要支援 1： 5.2% | 要支援 1：5. 3% | |

| | | | | |
|---|------------------------|----------------------------------|----------------------------------|-------|
| | | 全体：20.7 % | 全体：22.2 % | |
| | 結核り患率（人口10万人対） | 10.5人 | 9.0人以下 | |
| | 人口10万人当たりの医師数 | 産科・産婦人科 8.9人 小児科 10 .8人 | 産科・産婦人科 9.5人 小児科 11 .4人 | |
| | 人口10万人当たりの看護師数 | 984人 | 1,222人 | |
| | 小児科医師数（福山市民病院） | 11人 | 11人 | |
| | 福祉施設から一般就労への移行人数 | 36人 | 57人 | |
| | 後発医薬品の使用率 | 80.4% | 84.0% | |
| | 被保護者の就労支援プログラム参加率 | 19.0% | 65.0% | |
| ウ | 市民一人当たりの分配所得 | 2,916千円 | 3,039千円 | 基本目標3 |
| | びんごデジタルラボに参画する市内企業数 | — | 150社 | |
| | 創業件数 | 192件 | 225件 | |
| | ふくやまワーク・ライフ・バランス認定事業者数 | 135事業者 | 155事業者 | |
| | 採用面接をオンラインで行う企業の割合 | 21.7% | 70.0% | |
| | 市内大学卒業生の地元就職率 | 28.3% | 32.5% | |
| | 青果物・水産物の市内生産・漁獲流通額 | 850,519千円 | 875,710千円 | |

| | | | | |
|---|--------------------|-----------------------------------|----------------------------------|-------|
| | 森林整備面積（公益的機能の維持増進） | 19.45ha | 20.00ha | |
| | 学校給食への市内農産物の使用量 | 120.4t | 150.0t | |
| | 国道2号交通量 | 約4.8万台 | 約3.2万台 | |
| | 福山港鋼材（バルク）輸血量 | 515万t | 788万t | |
| | 福山北産業団地第2期の造成・分譲 | — | 分譲5件 | |
| | 建築物の耐震化率 | 多数の者が利用する建築物 90.9% 住宅 82.3% | 多数の者が利用る建築物 96.0% 住宅 90.0% | |
| | 防災リーダーの登録者数 | 262人 | 570人 | |
| | 総合防災訓練の参加人数 | 16,077人 | 60,000人 | |
| | 刑法犯罪認知件数 | 2,102件 | 2,100件 | |
| | 救急・救助資格者数 | 救急資格 456人 救助資格 205人 | 救急資格506人 救助資格280人 | |
| | 公共交通機関利用者数 | 14,928千人 | 19,810千人 | |
| | 温室効果ガスの排出量 | 29,286千t -CO2 | 26,714千t -CO2 | |
| | ごみの排出量 | 152千t | 142千t | |
| | 環境講座参加者数 | 3,766人 | 10,000人 | |
| エ | 学力の伸びた児童生徒の割合 | 65.6% | 75.6% | 基本目標4 |

| | | | | |
|---|---|---|---|-------|
| | 合 | | | |
| | 「授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいる」児童生徒の割合 | 小学校 77.7% 中学校78.3% | 小学校 80.0% 中学校 80.0% | |
| | 交流館、公民館グループ・サークルの数 | 1,792団体 | 1,900団体 | |
| | まちづくりに関心がある市民の割合 | 70.1% | 75.0% | |
| | ボランティア・NPOなど市民活動団体数 | 197団体 | 220団体 | |
| | 地域のまちづくりの拠点となる交流館数 | 3カ所 | 13カ所 | |
| オ | 歴史・文化・芸術に誇りを感じる人の割合 | 歴史・文化資源 34.0% 文化・芸術・伝統行事・伝統料理 12.1% ばらのまちづくり 35.1% | 歴史・文化資源 49.0% 文化・芸術・伝統行事・伝統料理 20.6% ばらのまちづくり 43.9% | 基本目標5 |
| | 文化施設などの利用者数 | 芸術文化施設 196千人 郷土歴史施設 | 芸術文化施設 707千人 郷土歴史施設 | |

| | | | |
|--|-------------------|-------|------------------------|
| | | 39千人 | 255千人 |
| | 歴史・文化資源に関する市民の認知度 | 19.0% | 36.5% |
| | 週1回以上のスポーツ実施率 | 45.7% | 62.0% |
| | スポーツ施設の再編 | — | 備後圏域の拠点となる庭球場・屋内水泳場の完成 |
| | 市スポーツ施設延べ利用者数 | 686千人 | 1,450千人 |

5 地域再生を図るために行う事業

5-1 全体の概要

5-2のとおり。

5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

- まち・ひと・しごと創生寄附活用事業に関連する寄附を行った法人に対する特例（内閣府）：【A2007】

① 事業の名称

福山市まち・ひと・しごと創生推進事業

- ア 福山駅周辺の再生加速とグローバル都市の創造事業
- イ 希望の子育てと寛容で健やかな社会の実現事業
- ウ 人や企業が安心・安全に活躍できる都市環境の構築事業
- エ 新たな価値を創出する人材育成と個性光る地域振興事業
- オ 歴史・文化とスポーツによる新たな体験価値の創出事業

② 事業の内容

- ア 福山駅周辺の再生加速とグローバル都市の創造事業

福山駅周辺の玄関口機能の強化，戦略的な観光振興，MICEの推進を柱として，福山駅周辺の再生加速とグローバル都市の創造を実現する事業。

【具体的な事業】

- ・ 未来を切り拓くプレーヤーの育成
- ・ 居心地の良いウォークアブルな都市空間の整備
- ・ 観光資源の発掘・磨き上げと発信
- ・ 外国人観光客の受入環境の向上
- ・ 産業MICE・エリアMICEの推進
- ・ 推進体制の構築・人材育成
- ・ 国際MICEの誘致推進 等

イ 希望の子育てと寛容で健やかな社会の実現事業

福山ネウボラの強化，人生100年時代の健康づくりと感染症対策の強化，医療提供体制の強化，福祉の充実を柱として，希望の子育てと寛容で健やかな社会を実現する事業。

【具体的な事業】

- ・ 妊娠期からの切れ目のない総合的な支援体制の充実
- ・ 子育て世代が将来の展望を描ける環境づくり
- ・ 子どもの豊かな成長を支える保育の充実
- ・ 援助を必要とする子どもや家庭への支援
- ・ 次世代ヘルスケアの推進
- ・ 福山版フレイル予防の推進
- ・ 新たな感染症の発生時などにおける健康危機管理体制の強化
- ・ 戦略的な医療政策の実施
- ・ 広域連携による地域医療体制の確保・充実
- ・ 福山市民病院の増改築整備
- ・ 障がい者に対する理解促進と支援体制の強化
- ・ 保険制度の健全な運営
- ・ 自立支援の推進 等

ウ 人や企業が安心・安全に活躍できる都市環境の構築事業

循環型地域経済の形成，多様な働き方と新たな人の流れの創出，農林水

産業の振興，都市基盤の強化，防災・減災の推進，安心・安全な暮らしの確保，環境にやさしいまちづくりを柱として，人や企業が安心・安全に活躍できる都市環境の構築を実現する事業。

【具体的な事業】

- ・企業の経営力強化
- ・起業・創業支援や企業誘致の促進
- ・地域経済循環構造の形成
- ・多様な働き方による人材の確保
- ・幅広い人材の活躍支援
- ・企業が求める人材の確保
- ・生産性の向上と担い手の育成・確保
- ・農林水産物の販路拡大とブランド化の推進
- ・農山漁村地域の活性化
- ・交流・物流ネットワーク機能の強化
- ・成長産業などの受け皿整備
- ・予防保全型の老朽化対策の推進
- ・抜本的な浸水対策の推進
- ・災害に屈しない強靱なインフラ整備などの促進
- ・地域防災力の強化
- ・迅速な避難行動につながる市民の防災意識の変革
- ・交通事故・消費者トラブルの未然防止
- ・消防，救急・救助体制の充実
- ・地域交通サービスの充実・スマート化
- ・快適な生活環境の整備
- ・低酸素・循環型社会の構築
- ・地域環境の保全
- ・持続可能な社会を担う人づくり 等

エ 新たな価値を創出する人材育成と個性光る地域振興事業

未来を切り拓く教育，多様性ある地域コミュニティづくりを柱として，新たな価値を創出する人材育成と個性光る地域振興を実現する事業。

【具体的な事業】

- ・福山 100N E N教育の推進
- ・新たな時代に活躍する人材の育成
- ・社会教育・生涯学習の推進
- ・地域の個性に応じた取組の推進
- ・持続可能な地域コミュニティの形成
- ・全ての人大切にされる人権文化が根付いたまちづくり
- ・まちづくりの拠点の再構築 等

オ 歴史・文化とスポーツによる新たな体験価値の創出事業

歴史・文化の薫まちづくり, スポーツによるにぎわいづくりを柱として, 歴史・文化とスポーツによる新たな体験価値の創出を実現する事業。

【具体的な事業】

- ・歴史・文化資源の保存と活用
- ・文化・芸術活動の推進
- ・鞆のまちづくり
- ・世界バラ会議に向けたばらのまちづくり
- ・ライフステージに応じたスポーツの実施促進
- ・ジュニア世代を中心とした競技力の向上
- ・プロスポーツ大会の誘致などによるにぎわいの創出
- ・魅力的なスポーツ拠点の創出 等

※1 なお, 詳細は「福山みらい創造ビジョン」のとおり。

※2 ただし, 「福山城築城400年を核とした地域活性化プロジェクト」の5-2-⑧に掲げる法第5条第4項第2号に関する事業の事業実施期間中は, 同③に位置付けられる事業を除く。

※3 ただし, 「福山城築城400年～城のあるまち福のまちプロジェクト～」の5-2-⑨に掲げる法第5条第4項第2号に関する事業の事業実施期間中は, 同③に位置付けられる事業を除く。

※4 ただし, 「鞆の歴史・文化を未来へ繋ぐまちづくり事業～「鞆・一口町方衆」応援プロジェクト～」の5-2-⑥に掲げる法第5条第4項第2号に関する事業の事業実施期間中は, 同②に位置付けられる事業を除く。

く。

③ 事業の実施状況に関する客観的な指標（重要業績評価指標（KPI））

4の【数値目標】に同じ。

④ 寄附の金額の目安

5,700,000千円（2021年度～2024年度累計）

⑤ 事業の評価の方法（PDCAサイクル）

毎年度7月頃に外部有識者による効果検証を行い、翌年度以降の取組方針を決定する。検証後、速やかに福山市ホームページで公表する。

⑥ 事業実施期間

地域再生計画の認定の日から2025年3月31日まで

6 計画期間

地域再生計画の認定の日から2025年3月31日まで